

## ステークホルダーとの対話

- 》コーポレートガバナンス基本方針(→P.73)
- 》情報開示基本方針(ディスクロージャー・ポリシー)(→P.82)
- 》コーポレートガバナンス報告書

<https://www.nipponpapergroup.com/ir/governance/report/>

### 具体的な取り組み

#### 一 株主総会

- 日本製紙は、株主総会の活性化と議決権行使の円滑化に取り組んでいます。
- 2022年6月29日に開催した第98回定時株主総会では、招集通知を早期に発送したほか、その内容を日英2つの言語でウェブサイトにおいて早期に開示しました。また、スマートフォン用議決権行使ウェブサイト「スマート行使」を通じて、インターネットでの議決権行使を受け付けました。
- 当日の会場では、来場者のマスク着用の要請、検温、手指のアルコール消毒、十分な間隔をとった座席配置など、新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底しました。

→ 株主総会情報:  
<https://www.nipponpapergroup.com/ir/shareholder/meeting/>

#### 一 IR活動

- 当社は、経営企画部がIR活動を担当しています。経営企画部は、関係部門と連携して、株主・投資家との建設的な対話の機会を持ち、資本提供者の目線からの経営分析や意見を収集しています。
- 定期的に、グループ経営戦略会議にて、IR活動の報告を行っています(2021年度実施回数:1回)。

#### IR活動の実績(2021年度)

IR活動	実施回数
決算・経営説明会	2回
決算説明会	2回
個別ミーティング	80回

#### 一 コミュニケーション活動

- 当社は、株主に対し、年2回株主通信を郵送しています。
- 当社グループでは、ウェブサイトで幅広いステークホルダーに企業活動に関する情報を発信するとともに、ご質問やご意見を受け付けています。
- 当社グループは「日本製紙グループリスクコミュニケーションガイドライン」を規定し、工場のある地域の住民や行政との環境コミュニケーションを定期的実施しています(→P.31)。
- 当社は、「2030ビジョン」「中期経営計画2025」の浸透を目的とし、2021年7月から2022年4月にかけて、社長と中堅組合員・管理職とのフリートークを実施しました(計46回691人)。

#### 主なコミュニケーション活動

ステークホルダー	対話の窓口	コミュニケーション手段の例
従業員	人事	労使協議会
顧客	営業	面談、問い合わせへの対応
サプライヤー	調達	面談、アンケート調査
地域・社会、NPO・NGO	工場、CSR	リスクコミュニケーション、面談
マスメディア	広報	ニュースリリース配信、取材対応
学生	人事	面談、説明会
株主・投資家	総務、IR	株主総会、株主通信、統合報告書、面談